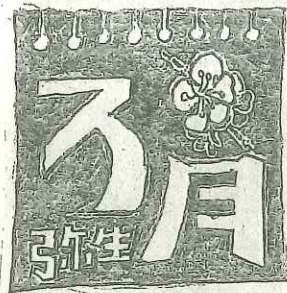
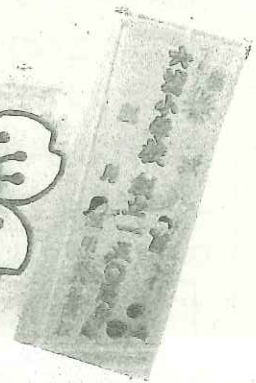
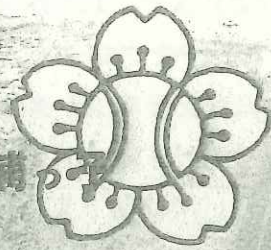
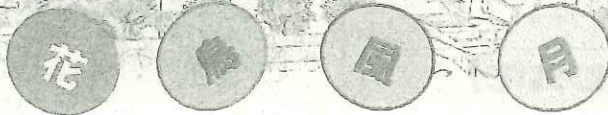
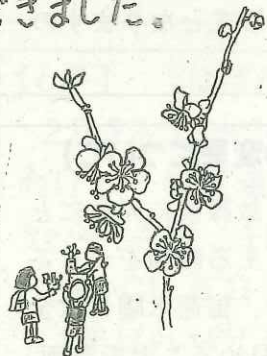
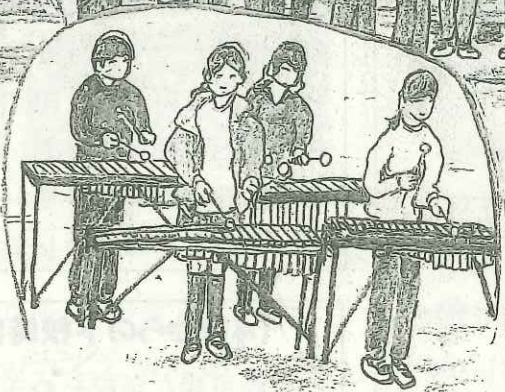


# むつうら

つながるなかま まち いきいき 六浦っ子



6年生卒業を祝う  
「はばたきの会」  
“ウィア-!”の合奏  
を心を一つに聴いてい  
ただきました。



## 春3月 笑顔の花咲く毎日に

校長 尾上 伸一

春3月となりました。むつうらっ子の今の学年での学校生活も残り1か月。6年生は卒業の日を17日に控え、友だちとの学校生活の名残りを惜むような毎日です。菜の花が満開の校庭。正門では高学年運営委員のあいさつ運動が続けられ、上級生が下級生に優しく声をかけているような場面があらこちらで見られます。どの教室でも明るい表情で学習し、休み時間には思い切り体を動かして遊ぶ子どもたちの姿が目立っています。最上級生の6年生は、卒業を前に学校の150周年記念事業の一環として、1組は「癒しの憩いの場造り」2組は「菓子の音スマイル宅急便」それぞれの事業をやり遂げ、創立150周年の機運を盛り上げてくれています。そんな子どもたちの成長と活動の様子を2月22日に3年ぶりに保護者の皆さんをお招きする形で「はばたきの会」でご覧いただくことができました。地域の皆さんにも温かく見守られて育った52名の6年生。最上級生としての愛校心と後輩への思いやりが六浦小学校を明るくまとめる何よりの力となっています。

ここまで職員が一丸となり、保護者・地域の皆様のご支援をいただくことで、子どもたちの素直な育ちを感じながら創立150周年に向かう学校運営を日々積み重ねることができました。心温まる子どもへの声かけ、見守りと本当に有難うございます。この3月もよろしくお願いたします。